

2024年9月26日

徳洲会グループ

日揮ホールディングス株式会社

株式会社レボインターナショナル

合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY

**国産 SAF 製造に向け、廃食用油の供給に協力する基本合意書を締結
全国に 77 病院をはじめ約 400 施設・事業所を展開する
徳洲会グループの廃食用油を再利用し脱炭素社会の実現に貢献**

医療法人徳洲会や一般社団法人徳洲会などで組織する国内最大の民間医療グループである徳洲会グループ（理事長：東上震一、以下「徳洲会グループ」）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長 CEO：佐藤雅之、以下「日揮 HD」）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川哲也、以下「レボインターナショナル」）、並びに合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表：秋鹿正敬、以下「SAFFAIRE SKY ENERGY」）の4者は、使用済み食用油（以下「廃食用油」）を国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel：以下「SAF」）等へ再利用する取り組みにおいて、相互に協力することを目的とした基本合意書を9月26日付で締結し、同日に調印式を執り行いました。本取り組みに、全国で医療・介護・福祉事業を展開する医療グループが参加するのは初めてとなります。また徳洲会グループは、SAFで航空機が飛ぶ世界を実現するプロジェクト「Fry to Fly Project」に参画し、各病院・施設での周知活動を行うなど、本プロジェクトの輪を広げていきます。



脱炭素推進に向け調印式を行った(左から)SAFFAIRE SKY ENERGYの西村勇毅最高執行責任者、レボインターナショナルの越川哲也代表取締役、徳洲会グループの東上震一理事長、日揮 HDの秋鹿正敬専務執行役員

徳洲会グループは、本年2月に大阪府にある八尾空港を拠点に、離島・へき地などへの医療者の移動手段として、小型ジェット機の自主運航を開始するなど、「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を受けられる社会」の実現を目指し、医療・介護・福祉を通じて SDGs 達成のための様々な取り組みを行ってきました。

そうしたなかで今回、徳洲会グループは医療や介護、福祉を通じた SDGs だけではなく、脱炭素で SDGs を達成することができる本取り組みに賛同し、徳洲会グループが運営する全国約 140 の病院・老健・特養等の給食施設から排出される廃食用油を SAF の原料として提供することに合意しました。病院からの廃食用油の回収は、来月 10 月から順次開始する予定です。

徳洲会グループと日揮 HD、レポインターナショナル、SAFFAIRE SKY ENERGY の 4 者は、今回の基本合意を通じて廃食用油を原料とする国産 SAF のサプライチェーンの構築を加速し、「脱炭素・循環型社会の実現」に貢献してまいります。



患者さんに好評の鶏のジューシーから揚げ献立
 (出典：『毎日のごはんが健康をつくる 徳洲会おすすめのバランスレシピ』飛鳥新社刊)



廃食用油引き取りの様子

【各社の役割】

徳洲会グループ	全国に展開する約 140 の病院・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム等の給食施設から排出される廃食用油を SAF の原料として提供します。回収量は年間 33,000 リットルを見込んでおります。
日揮 HD	廃食用油を原料とする SAF 製造事業(コスモ石油株式会社、レポインターナショナルとの共同事業)に関するサプライチェーンの全体構築を主導します。
レポインターナショナル	徳洲会の病院から排出される廃食用油を資源として収集し、SAFFAIRE SKY ENERGY に引渡すとともに、徳洲会から買い受けた廃食用油の引取り量と SAFFAIRE SKY ENERGY への引渡し量など収集状況を管理することで、廃食用油のトレーサビリティを明らかにします。
SAFFAIRE SKY ENERGY	大阪府堺市で建設中の日本初となる国産 SAF の大規模製造プラントにおいて、レポインターナショナルから引き取った廃食用油を原料として SAF の製造を行います。

【SAF とは】

SAF とは、廃食用油や植物・動物油脂、木質バイオマスなど、化石燃料以外を原料とする「持続可能な航空燃料」のことで、従来の原油からつくる燃料と比べて CO₂ の排出量を大幅に削減することができます。原料が 100%廃食用油の場合、原料収集から SAF の製造・航空機での燃焼までの全体で、従来の航空燃料と比較して CO₂ 排出量を約 80%削減することができます。

【国産初の SAF 大規模生産事業の概要】

日揮 HD、レボインターナショナルは、コスモ石油株式会社と共同で国内での廃食用油の収集から SAF の製造・輸送・供給に至るまでのサプライチェーン構築に向けて事業化検討を進め、2022 年に新会社 SAFFAIRE SKY ENERGY を設立し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。なお、本事業は NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)より採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ:

https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html



大阪府堺市で建設中の SAF 製造工場の様子

この件についてのお問い合わせ先

一般社団法人徳洲会 広報部

電話：03-3288-5580

日揮ホールディングス株式会社
戦略企画オフィス 経営企画ユニット 広報グループ

電話：045-682-8026

株式会社レボインターナショナル 広報

電話：075-353-2277